

宮城野萩だより

宮城野萩だより 第31号 WEB版

編集・発行 平成29年7月21日

仙台育英学園父母教師会

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2丁目4-1

Tel. 022-256-4141 Fax. 022-299-2408



■ 父母教師会会長挨拶



ネットワークの輪を 広げましょう！

仙台育英学園父母教師会会長
鈴木 良英

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は当会の運営、活動にご理解とご協力賜り心より御礼申し上げます。

さて、皆様ご存じのとおり本学園は創立112周年を迎えることとなり、秀光中、仙台育英高校合わせて生徒数は3,000名を超える学園、そして父母教師会となりました。昨年度の総会では、「ソーシャルメディアを利用したいじめ防止に向けた活動」として学園と共に署名捺印し共同宣言をさせていただきます。

昨今ではニュース等で報道されておりますが、宮城県をはじめ全国でもいじめを苦にしての悲惨な事件、事故が後を絶たないのが現実かと思われまします。このような悲惨な事件や事故が起こらないよう、私たち保護者、教師みんなで目を光らせ、また子供たちの異変にいち早く気付けるような家庭環境をつくり、そして色々なことを相談できる仲間をつくって行ければと願っております。

学園は様々なことに邁進しております。それは、私たちの子ども達のことを第一に考えているからだと思えます。よって、私たち保護者は学園の教育方針等を理解し、教職員、保護者、子ども、互いに「手と手」をつなぎ「心と心」を通わせ、有意義な1年にしたいと考えております。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、この父母教師会の活動を通して保護者同士のネットワークの輪を広げられることを期待いたします。そして学園を盛り上げましょう。

重ねて、皆様よろしくお願い致します。



Report

平成29年度 父母教師会総会

5月20日（土）多賀城校舎・グローリーホール



平成29年度の父母教師会総会が5月20日（土）、午後1時から多賀城校舎グローリーホールにおいて開催されました。全会員2995名中、出席者123名（委任状2290）で審議が行われました。

審議に先立ちまして、開会においては鈴木良英会長から次のような挨拶を頂戴しました。

「昨年の総会の時に、仙台育英学園と父母教師会で「ソーシャルメディアを利用したいじめ防止に向けた活動」を署名していただき、現在も活動を行っております。ここ数日、何件か中学生の自殺がありました。いじめではありませんが5月になってきますと五月病や慣れてきたことにより小さな発言でもいじめに聞こえることもあります。保護者の皆様もスマホや携帯電話の発言等についてもお子様を注意して見ていただいて、お子様のちょっとした異変に気づくことが出来るような家庭環境を作っていただけたらと思います。学園にかぎらず全国からいじめがなくなるようご家庭や教職員の皆様もご協力いただき、異変に気づけるようにしていきたいと思ひ、お話をさせていただきました。これからもよろしくお願ひします」

次に加藤雄彦理事長校長先生から、講師の西園寺先生のご紹介も交えながら大きく2つのお話がありました。

1つ目は「北京航空大学（ベイハン）」についてです。3月の末に孔子課堂の理事会で北京航空大学を訪れた際、たくさんのことを拝見してきました。授業を英語でおこなっていることや世界中から留学生が多くいること、研究内容も充実しており地元貢献していること、そして世界ランキングでも上位にいることなどが大変魅力的でありました。本校からも進学する

Report

平成 29 年度 父母教師会総会

ことは可能ですので、ぜひ世界にも目を向けて大学を選んでほしいです。

2 つ目は「1 - Lion Day」についてです。ご案内の通り、平成 17 年の 5 月 22 日に飲酒運転によって 3 名の方が亡くなり、27 名のお子さんが重軽傷を負い、200 人以上のお子さんが目の前でその事故の様子を見ていました。このような事故があったにも関わらず、飲酒運転はなくなっておりません。お酒を飲んで運転することは悪いことです。このようなことを分かっもらうために、宮城県に働きかけ県条例を作ってもらい、毎年 5 月 22 日に飲酒運転根絶を願い、取り締まりをしてもらうようになりました。生徒諸君にもこのようなことを知ってもらうことや、この事故を風化させないためにも大切な日であることを分かっもらう日になります。これからも本校ではこの事故のことを忘れないために毎年ずっと行っています。本日はありがとうございました。

次に小坂信雄教育振興会会長から次のようなご祝辞をいただきました。「午前中は先生方と親睦を深められ、お子さんのこれからのためにご努力をなさっていることに心から敬意を表したいと思います。また、私ども教育振興会に多大なご支援をいただき感謝いたします。これからも学園の発展のために、皆様の大きな力を貸していただきたいと思います。4 月から学園も約 1000 名の新しい仲間を迎え、大活躍をしております。宮城県の教育界は混沌としているようですが、仙台育英学園は決してそういうことではないということを保護者のお力をお貸しいただきながら生徒の活躍を通して明らかにしていきたいと思っております。今後とも学校と懇談を深められ、皆さんの活躍を期待しています」

会の最後に前工学院大学孔子学院長西園寺一晃先生から「グローバル化時代と日中関係ー世界で活躍できる人材とはー」と題しまして、グローバル化において必要とされる能力や考え方、そして今の世界の動きを紹介しながら、孔子課堂の役割に触れ、これから世界で活躍する人材の育成について熱心に語っていただきました。

Topics

グローバル化時代と日中関係 -世界で活躍できる人材とは-

前工学院大学孔子学院長 西園寺 一晃先生



仙台育英孔子課堂を設立して1周年を迎えました。今回の父母教師会の研修としまして前工学院大学孔子学院長西園寺一晃先生をお迎えし、これから世界で活躍する人材育成についてお話をいただきました。

これからの21世紀の世界規模地球規模の課題はいろいろとあります。まず、食糧問題です。日本は特殊で少子高齢化で人口は減っているが、世界的には爆発的に増えている。もうすぐ100億に達します。これらの人々にどうやって食料や資源を供給するのか課題です。二つ目は環境破壊です。人間が増えこれまで以上に食べ物・燃料が必要になってきます。そして、今まで発展していなかった国が発展し、その副作用として環境破壊が起きてきます。三つ目の課題はその環境が臨界点に達しているという点です。四つ目が世界的に格差の拡大が増大している。世界はグローバル化しているので、国境の壁が低くなっています。もの・人・文化・意識・宗教が飛び交い、自由に触れ合うことができる。

しかし、ここでも二つの問題が起きます。例えば日本にいていろいろな国の文化や習慣を知って、その国の人と互いに文化を尊重し合い、仲良くしようとする他文化共生はとても良いことですが、そこには文化の衝突も存在します。ある人は自分の文化だけが正しい、あとは全部だめだと考えると、これは紛争のはじまりとなります。もう一つはみんなが公平に同じ条件のもとで公平に勝負できるということです。そうすると強い国、大きな国と弱い国とが勝負すると強い国が勝つに決まっています。そうなりますますます格差が拡大してきます。グローバル化の波は変わらない。どうやって生きていくか。考えていかねばいけないと思います。世界は大きく変わりつつあります。

1989年冷戦が崩壊し、超大国だったソ連が崩壊し、アメリカの1強時代がはじまると思われたが、その他の国が力をつけてきたんです。EU ロシア アジア 中国が発展してきました。インドが出てきました。すでに大きな変化ができています。

今まで日本の安全保障はアメリカが保護してくれました。これからは自分で考えていかなければなりません。アジアの日本として考えていかねば

Topics

グローバル化時代と日中関係-世界で活躍できる人材とは-

ならないと思います。

情勢の変化を前にして、この時代に次の世代がどう対処していくか。かぎはグローバル化と国際化と考えます。いかにしてグローバル化と国際化に対応できる人材を育てるかということです。日本人は多文化、違うものに接することが苦手です。しかし、違うものといかに共生していくかが大事です。いまの高校生が大人になったとき、一番の変化は大量の移民が入って来ます。その人たちとうまく折り合っていくか、文化の衝突を避けて共生していくこと、そういう訓練を今からしていかなければならないと思います。それらに対応できる人材を今から考えていかなければならないと思います。理事長先生は世界に目を向けておられます。世界の人たちというるな付き合いをしなければなりません。留学生がたくさんおられる仙台育英学園高校は素晴らしいと思います。若い人たちが国際化グローバル化に対応できる人材育成ができる高校になるのではないかと思います。たくさんの国際的な知識をもっているいろいろな国の文化と共生ができるようになってほしいと思います。東北で初めて孔子課堂ができたのですから、利用すべきです。同じ土俵で勝負できる人材が求められています。そのためにも孔子課堂を活用してほしいと思います。一周年おめでとうございます。



▲仙台育英 孔子課堂一周年記念講演会（5月19日開催）での生徒パフォーマンス
左上：英進進学コースの中国からの留学生2名による「中国武術」
右上：「北京語学研修」に参加した外国語コース生徒による発表
下：外国語コース中国語選択者による中国語での「ふるさと」の合唱

Data 2017 進路実績

合格者総数 845 名!!

(秀光中等教育学校 77名 仙台育英学園高等学校 768名)



特別進学コース



外国語コース



英進進学コース



情報科学コース



フレックスコース



技能開発コース

東北大 9、北海道大 1、筑波大 1、お茶の水女子大 1、横浜国立大 2、茨城大 2、埼玉大 1、千葉大 2、新潟大 2、信州大 1、岩手大 1、宮城教育大 6、秋田大 1、山形大 8、福島大 6、高崎経済大 2、都留文科大 1、静岡県立大 1、宮城大 10、会津大 1、福島県立医科大 2、慶應義塾大 3、早稲田大 7、上智大 2、明治大 5、青山学院大 4、立教大 6、中央大 9、法政大 14、東京理科大 10、津田塾大 1、日本女子大 3、聖マリアンナ医科大 1、同志社大 6、立命館大 7、岩手医科大 6、東北学院大 161、東北福祉大 44、東北工業大 47、東北医科薬科大 17、宮城学院女子大 21、仙台白百合女子大 5、尚絅学院大 19、石巻専修大 28、仙台大 22 / ほか

■平成29年度大学入試 合格者総数

(平成29年4月20日現在)

	四年制大学		短期大学		計
	国公立	私立	国公立	私立	
現役	48	698	2	23	771
過卒	16	58	0	0	74
合計	64	756	2	23	845

※大学別科は、短期大学に含めている

就職率男女とも 100%

■平成29年3月就職者

■各種・専門学校への進学者

男子	女子	合計
62	31	93

男子	女子	合計
114	66	180

Essay 新一年生から

「魅力ある私の学校」

秀光中等教育学校 1年 浅利さん

私が秀光に入学して感じたことは、他の学校では得られない多くのことを学び、体験できるということです。例えば、音楽の授業は、ヴァイオリンやクラリネットなどの楽器を全員で練習します。技術の授業は、そのほとんどが英語で行われます。英語の力をもっと伸ばしたい私には、とても楽しく有意義な時間です。また、生徒全員にノートパソコンが支給され、自宅でe-ラーニングも受けられます。どれも他の学校では体験できなかったことです。

毎日の生活では、同級生の人数が少ない分、上級生の方々と関わる機会がとても多いと思います。実行委員を務めたスポーツチャレンジでは、同じチームの上級生はもちろん、他のチームの上級生にもいろいろ教えていただきました。皆さんとても優しく、憧れの存在です。同級生にも様々な行事やオリエンテーションを通して、信頼できる友人がたくさんできました。

秀光には、他の学校にはない魅力がまだまだたくさんあると思います。この環境を提供してくださる学校、先生方、そして両親への感謝の気持ちを忘れずに楽しい学校生活を送っていきたいと思います。

「期待を胸に一步前進」

外国語コース 1年 津田さん

私は、中学3年の夏、本校の個別相談会に参加し、IBのことを知りました。話を聞くうちに興味がわき、IBに挑戦したいと考えたので入学を決めました。

入学してから約2ヶ月程経ちましたが、気付いたことが2つあります。それは、自立し時間を有効に使わなければならないということです。中学校を卒業し、自分の行動に対して、責任を持たなければならない立場になりました。家族にしてもらって当たり前ということも、自分でやらなければなりません。例えば、朝に起こしてもらうことや予定の管理などです。これからは、今自分に何ができるかを常に考え、家族になるべく頼らないようにしたいです。

もう1つの時間を有効に使わなければならないことについては、高校生になり、無駄な時間を過ごしてしまうことが多くなったと実感しています。本当はやらなければならないことがあるのに、他のことをしてしまい、後悔することが増えました。高校生活を豊かなものにするため、空き時間などを使って、こつこつと勉強したいと思います。学習面では、特に英語に力を入れたいです。IBプログラムに参加するためには、英語力が最も重要になると考えます。高校3年間で、海外でも通用するような英語力を身に付けたいです。

高校生活は、社会人になるための充電期間だと私は考えます。この期間をどのように過ごすかは、自分次第です。だからこそ、自分の可能性を信じ、日々前進していきたいと思います。

Essay 新一年生から

「大人への第一歩」

情報科学コース 1年 佐々木 くん

4月10日、僕にとってとても大事な行事である入学式に出席しました。今まで小学校、中学校と入学式を2回経験してきましたが、今回の入学式は、今までの入学式とは違い9年間の義務教育を終えて、大人へと更に近づいた人生の中でもとても重要な入学式でした。

入学してから数ヶ月が経過しました。中学生の頃に比べ授業は、複雑になり、スピードも上がりました。だからこそ、1時間の授業に集中し、授業後に先生へ質問をしたり、家でも復習・予習をしたりするなど勉強に対して全力で向き合うことが大切になってきました。このように一つのことを全力で行うことも、大人への第一歩だと思います。

そして、僕の入学した情報科学コースでは授業でノートパソコンを用いて行うため、調べものをして、それをパソコン内でまとめて提出するなど、とても恵まれた環境で授業を受けることができています。また、僕のように今までパソコンに触れる機会の少なかった人でも先生方が丁寧に教えてくださるので、パソコンに慣れることもできます。最高の授業環境で受けさせていただいていることを本当に感謝したいです。

最後に、この高校3年間で充実を過ごし、大人へと更に近づいていきたいと思います。



IBの授業【グローバルルーム】



一人一台のノートパソコンを使って【秀光】



タブレットPCでの授業【情報科学コース】

Voice 卒業生の保護者から

特進で過ごした充実の日々

特別進学コース卒業生 父

何校かのオープンスクールに参加して本人が出した結論が、仙台育英への進学でした。通学には、バスと電車を乗り継いで一時間半程かかりますが、それでも行きたいと願ったのには、彼なりの理由がありました。息子は小学校から始めた野球や友達との遊びを頑張りすぎて（笑）、計画的に学習することがありませんでした。ですから、中三の夏休みを目前にしてかなりの焦りを感じたはずですが、そんなとき彼の心を捉えたのが「逆転の仙台育英」でした。この環境でなら、こんな自分でも目標を達成することができるかと確信したそうです。もう迷いはありません。特進で頑張ると決心しました。人一倍好奇心の強い彼にとって、学校での友達との交流は刺激的なものでした。帰宅するや否や学校での出来事を嬉々として話す姿に、羨ましさや嫉妬心を感じながらも、彼の話聞くことが日々の楽しみとなりました。放課後の講習やオークルーム等で心ゆくまで学習できる環境を活用し、東大選抜クラスで三年間を過ごすことができました。そして何より、切磋琢磨し合いながらも強い絆で結ばれた友人たちの存在が、彼にとってかけがえのないものとなりました。彼らや先生方に助けられ、進学したのが京都の同志社大学。学校の研修旅行で訪れた歴史のある大学です。入学後、新入生歓迎会での事。先輩方を前にしての自己紹介で「仙台育英出身」と言った途端に大歓声が上がったそうです。今こうして毎日楽しく大学生活を送れているのは、三年間担任していただいた櫻井先生をはじめ、諸先生方が本人の志向を見抜いて導いてくれたおかげです。感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

希望と経験を糧に

英進進学コース卒業生 母

父親の母校でもあり、自分の夢を叶えるため娘は迷いもせず仙台育英学園を受験しました。しかし、入学後、様々な問題が降りかかって来ました。まずは入寮・部活動入部の希望が難しいという局面でした。それでも娘共々、何度も先生方に掛け合い熱心な娘の姿をみて、受け入れていただくことが出来ました。娘はこれを契機に一層勉強とスポーツの両立を目指し努力していきました。それも束の間、今度は部活動内で問題が起こるなど一学年では色々な出来事がありました。そんな中でも学習面では自分のやりたいことが出来るコースで、また寮でも勉強する環境が整っており、大学進学への良い影響を与えていただきました。その時折お世話になった先生方には本当に感謝しております。また学校行事などでも他の学校ではできない経験もたくさんさせていただきました。娘にとって、仙台育英学園に入学し、先生方、そして、部活動の出会いから、たくさんのことを学ばせてもらいました。特に望んだことが得られなかったとき、そこから何を学び、どう活かすのが大切だということがわかったようです。これまでの経験から自分の人生、やりたいことを達成することへ近づく一歩へと繋げて行くことが出来たのだと思います。

今、娘は防衛大学で厳しい生活、訓練を送る中、これまで以上に充実しており、頑張っていると話してくれました。これも大学推薦をくださった加藤雄彦校長をはじめ、先生方のおかげです。仙台育英学園に入り本当に良かったと思います。心から感謝いたします。ありがとうございました。

山形学習センター開設

学習センター機能の 一層の充実をめざして

山形学習センター 所長 鹿野 智



山形学習センターは、平成26年4月14日に山形市霞城公園向かいの大手門パルズ1階の一部を借りて開設されました。開設した主な趣旨は次のとおりです。

- (1) 広域通信制課程「ILC 宮城」に所属する山形県内在住の生徒たちが気楽に通える学習拠点とする。
- (2) 秀光中等教育学校や仙台育英学園高等学校への進学を目指す山形県内の小中学生やその保護者の方々が気軽に利用できる相談窓口とする。
- (3) 秀光中等教育学校や仙台育英学園高等学校の様子（入試制度や教育内容の特色、卒業生の大学進学状況等）を山形県内の小中学校の先生方に紹介する情報発信基地の機能を果たす。

次に、今年で4年目を迎える本学習センターのあゆみを紹介します。

・父母教師会山形支部会の発足（平成27年7月4日）
それまで県外には父母教師会の支部組織はありませんでしたが、本学習センターにおいて山形支部の発足総会を開催しました。

・新たな山形学習センターの開所（平成28年9月4日）
山形市旅籠町1丁目205番地内に新たな本学園独自の施設を建設し、平成28年9月4日に竣工式を挙行了しました。そして、住所も旅籠町1丁目1番1号と新しくして再スタートしました。

そして、今年度から職員2名体制になったことに伴い、一週間のすべての日を仙台育英学園に通う生徒の学習室として開放するなど、本学習センター開設の趣旨にてらした教育機能のより一層の充実に努めています。

Records

平成29年度 宮城県高等学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

■仙台育英学園高等学校

《優勝》

ラグビー、サッカー 男子、なぎなた、
陸上競技男子総合、トラック 男子、400M×4 男子、
ライフル射撃立射 女子

《準優勝》

剣道 男子、柔道、ライフル射撃立射 男子

《3位》

硬式野球、剣道 女子、サッカー女子



平成29年度 仙台市中学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

■秀光中等教育学校【前期課程】

《優勝》

野球（県大会出場）